

社会的な事象の見方・考え方を働かせ、主体的に課題の解決を図る子どもの育成
～少人数・複式学級における多様な考えをつくりだす指導方法～

令和2・3年度大島地区研究協力校「指導方法改善」
奄美市立住用小学校公開研究会

興味・関心の高揚

仮説Ⅰ 授業充実の3ポイント
【目標の明確化】

導入の場面で、**問題解決に必要な資料**を考えさせたり、**理由のある予想**を立てさせたりするなど、指導方法の改善を行えば、児童の追究意欲が高まるのではないかと。

研究内容

興味・関心をもつ資料



興味・関心を高められるように、**教科書や資料集の資料と自分の住んでいるところの様子を比較**させました。

【興味・関心をもつ資料の比較例（4年生）】

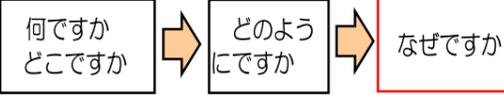


理由のある予想



自分なりの理由のある予想を引き出すために、**社会的な事象の見方・考え方を働かせるような発問**を準備しました。

【理由のある予想を引き出す発問の構成例】



資料の選択



資料の中から**必要な学習内容を引き出し、読み取り、選択**できるようにしました。

【資料選択のプロセス例】



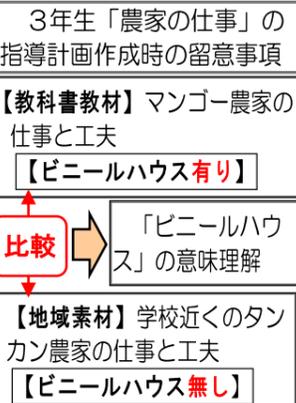
見方・考え方の広がり

仮説Ⅱ 授業充実の3ポイント
【山場の工夫】

展開の場面で、身近に感じる郷土資料の導入、一人調べを充実させるICTやワークシートの活用など、指導方法の改善を行えば、児童の思考の深化と視点の広がりにつながるのではないかと。

研究内容

教科書教材と地域素材の活用



教科書には**重要語句**が示されているので、地域素材を教材化する際に、その習得が**指導計画**に盛り込まれるよう留意しました。

複式学級での間接指導

【全時間活用のワークシート】**ワークシートを作成**し、間接的に授業支援しました。
【コロナ状況下でのインタビュービデオ】働く人の生の声を**タブレットで視聴**できるようにしました。



5年生「米づくりのさかんな地域」のワークシート
個人用タブレットから視聴できる市役所職員の話

少人数学級での多様な考えの構築

【視点の異なる事実の分類】様々な視点からの意見交換を行うことができるように少人数の子どもだけでは気づきにくい**視点を事前に想定**しておきました。



【遠隔授業】少人数学級どうして近隣校と**遠隔授業**をしました。



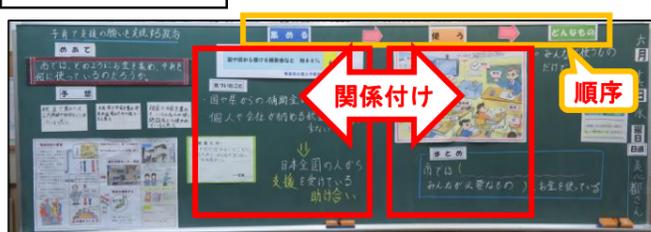
知識の獲得

仮説Ⅲ 授業充実の3ポイント
【確かめ・見届け】

終末の場面で、自力でのまとめを助ける構造的な板書や学習問題と呼应させる定型文、新たな疑問をもたせる学習の接続など、指導方法の改善を行えば、児童の知識の深化と追究意欲の継続につながるのではないかと。

研究内容

構造的な板書



「順序や手続き」「比較や関係付け」「統合」などの**思考のプロセス**を用いながら学習内容を整理しました。

自力でのまとめ



「あすばるの建設は市の事業だから、建設のための予算には、国の事業と同じように税金が使われているのかな。」
市では、どのようにお金を集め、それを何に使っているのだろうか。
市では・・・集め、・・・使っている。



学習問題に**社会的な事象の見方・考え方を含ませ、主述を明確**にしました。

次時の学習へのつなぎ



まとめの後の「**新たな問い**」
次時の学習へのつなぎ



まとめの後に解決できない**新たな問い**を提示しました。**次時の学習への意欲**を高め、**見通し**をもった学習が展開できました。

公開研究会の様子（62人参加）



【公開研究会に参加された先生方の感想】

- 子ども自ら学ぼうとする姿勢が大切なのだと改めて感じました。
- 社会科の公開に初めてうかがい、また複式の在り方が勉強になりました。
- この授業なら学力が上がっていくと感じました。
- 子どもが社会科好きになり、調べる楽しさを味わえる授業はどうあればよいかについて考えることができました。
- 子どもが主体的に学ぶことができるために、住用小の実践を参考にします。
- 地域教材やGTの活用により、子どもたちが自分ごととしてとらえていて、とてもよいと思いました。
- 頭をフル回転して授業や協議に参加する心地よさを味わわせていただきました。
- 校内全体の環境がとても整備されており、協力して取り組まれていることが伝わってきて、とても素晴らしい公開でした。
- 社会科の授業は準備が大変なので、資料を共有できるといいです。